

遠野市監査委員告示第7号

平成24年6月29日

地方自治法第199条第4項の規定に基づく補助金等の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子

遠野市監査委員 佐々木 資光

遠野市監査委員 荒川 栄悦

## 平成24年度補助金等監査結果報告書（平成23年度支出分）

### 1 監査の期日及び対象

監査は、平成24年6月1日から20日までの間に延べ5日実施した。なお、事前書類審査は5月30日に実施した。

監査の対象は、平成23年度に支出した補助金等とした。

監査対象の決定については、担当課等に次の条件で資料の提出を求め、提出された174件のうち次表の30件を抽出して監査した。

- (1) 補助金については、1件の金額又は同一補助金で交付団体が複数のときの総額が50万円以上のもの
- (2) 負担金及び交付金については、50万円以上のもので財政的援助を目的として支出したもの
- (3) 貸付金等については、利子補給も含めて財政的援助を目的として支出したもの

#### 【監査した補助金等】

期 日	担当課等	補助金等の名称（交付先等）	交付金額
6月1日(金)	環境課	遠野市リサイクル促進事業費補助金	2,830,635円
	農家支援室	夏期ハウレンソウ栽培支援事業補助金	747,000円
		「遠野市農業活性化本部」運営に係る協定書に基づく人件費等負担金	6,112,684円
	子育て総合支援課	遠野市母親クラブ等運営費補助金	3,213,000円
	文化課	遠野物語研究事業等振興補助金	2,612,000円
	林業振興課	遠野市森林のくに振興資金貸付金	10,000,000円
6月4日(月)	農業振興課	遠野市農業経営基盤強化資金利子補給補助金（岩手県信用農業協同組合連合会）	1,600,000円 (1,868,143円)
		遠野市中山間地域等直接支払交付金（土淵山口集落）	2,217,222円 (113,508,778円)
		遠野市中山間地域等直接支払交付金（塚沢1集落）	2,139,067円 (113,508,778円)
		遠野市農地・水保全管理支払交付金	5,023,460円
		遠野市有害鳥獣被害対策事業費補助金	9,263,000円
		ホップ環境支援対策事業補助金	3,000,000円
6月6日(水)	生涯学習スポーツ課	「地方の魅力発信プロジェクト」事業費補助金	4,950,000円
	商工観光課	遠野市観光事業振興補助金	14,553,000円
		日本のふるさと遠野まつり実行委員会負担金	9,840,000円
		遠野型観光PR推進委員会負担金	9,435,000円

		遠野市雇用奨励助成金(ミツワ化工(株))	1,260,835円
		遠野市事業所設置奨励金(榊十辰製作所)	4,000,000円
6月18日(月)	長寿課	社団法人遠野市シルバー人材センター事業補助金	10,800,000円
	保健医療課	一日人間ドック負担金(一般会計分)(岩手県厚生農業協同組合連合会)	2,298,000円
	福祉課	社会福祉法人事業費補助金(社会福祉法人ともり会・高館の園)	4,300,500円
		遠野市障害者等日中一時支援事業費補助金(社会福祉法人睦会・遠野コロニー)	3,913,600円
		遠野市障害者地域活動センター事業費補助金(社会福祉法人千晶会・太田の園地域活動支援センター)	1,486,500円
		遠野市通所サービス利用促進事業補助金(社会福祉法人睦会・遠野コロニー)	2,552,760円
6月20日(水)	市民協働課	遠野市環境整備協力会補助金	5,508,150円
		遠野市地方バス路線対策事業費負担金(廃止路線代替バス運行費負担金)	2,650,025円
	学校教育課	遠野市立学校体育・文化事業補助金(遠野市中学校体育連盟)	2,989,000円
	畜産振興課	管内保留対策緊急支援事業費補助金	5,000,000円
		遠野牛地域一貫体制整備事業費補助金	1,500,000円
	馬事振興課	遠野馬の里運営事業費補助金	101,087,000円

※( )は全体金額

## 2 監査の実施率

項目	補助金	負担金 交付金	貸付金等	合計
交付件数 (各課等の報告件数)	108件	46件	20件	174件
監査件数	20件	8件	2件	30件
監査実施率	18.5%	17.4%	10.0%	17.2%

## 3 監査の視点

補助金等に係る交付決定の事務及び支出事務の執行状況に関し、次の手順及び視点で監査を行った。

- (1) 監査対象項目に係る諸帳簿等の提出を求め、担当職員から説明を聴取した。
- (2) 法令に違反していないか、規則や要綱等に基づいて処理されているか、金員の使途は交付の趣旨に合致しているか、援助による効果はどうかなどについて調査した。

## 4 監査の結果

補助金等に係る事業の公益性や補助事業者の適格性などを審査したところ、公益上必要と認められる事業・団体等に支出されており、交付目的や補助金等の対象事業の内容等も明確になっている。

また、関係法令、要綱等への適合性、算定方法の妥当性や交付時期の適正性及び実績報告の整合性と完了確認、額の確定といった補助金等の決定及び交付に関わる事務についても、概ね適正に処理されている。

事務処理上の軽易な誤りや不備な事項については、その都度関係職員に対して口頭で改善又は検討するよう述べたので、本書への記述を省略する。

監査対象とした補助金等ごとの監査の結果については、次のとおりである。

### ○遠野市リサイクル促進事業費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市公衆衛生組合連合会が実施する、護美箱クリーンアップ事業、生ごみ処理機等の購入助成、資源集団回収奨励金事業、ごみ減量及び分別推進に係る物品購入助成や不法投棄物処理等に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

平成24年度からゴミの分別方法が変わるのに伴い、市内102行政区や36各種団体説明会への参加者は、延べ4,344人と、市民に対して十分な説明が行なわれたことは評価できる。

資源循環型社会の構築、快適な生活環境の創出には、全市民の理解と協力が不可欠であり、そのためには、もう一度3R(発生抑制ーリデュース、再利用ーリユース、再生利用ーリサイクル)運動の展開を検討するなど、全体の方向性を見直す必要があると思われる。課題の絞込み、対策検討については、環境課がリーダーシップを発揮して全部署で横断的に行い、更にきれいな遠野市を目指して欲しい。また、各行政区との連携において現時点での課題は何か、明確にすべきと思われる。

### ○夏期ホウレンソウ栽培支援事業補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、花巻農業協同組合遠野地域野菜生産部会遠野支部がホウレンソウの長期安定出荷と品質の安定向上を図るため、出荷量が特に減少する夏期高温時のハウス内温度上昇を防ぐための遮光資材や播種機を導入する事業に対し、契約出荷を拡大するうえで必要な補助金の支出であると認められる。

遠野の特色を生かした野菜・花き生産で、他産地との差別化を図り競争力を高めるためにも、その基礎となる出荷販売実績額(種類別・チャンネル別等)の把握と活用を更に進めることを望む。

### ○「遠野市農業活性化本部」運営に係る協定書に基づく人件費等負担金

特に問題点は見受けられなかった。

この負担金は、遠野市農業活性化本部運営に係る協定書に基づき、花巻農業協同組合がスタッフとして参画させている、遠野市堆肥センターの業務を担当する2人の人件費等に対し、必要な負担金の支出であると認められる。

遠野市堆肥センターの堆肥処理は、他市に比べて高品質の堆肥処理であるということであり、それを市民に安価で供給し売上拡大に結び付けていることは評価できる。

平成23年度の販売額は、堆肥処理料を含め約1,260万円(内販売額約860万円)ということである。市民にとって有益な事業なので今後も継続を望む。

なお、人件費等の負担をしている以上、金額に誤りがないか出勤簿等の確認をすべきと思われる。

#### ○遠野市母親クラブ等運営費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、市内 17 団体の母親クラブが実施する交流会や親子教室等の活動に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

運営主体は母親クラブであるが、市として補助金を支出している以上、「児童の健全育成」という施策で総括せず、クラブ全体の活動についてももう少し具体的な提案を望む。(例えば子どもたちに遠野の環境美化について考え、行動してもらう企画提案など。)

家庭児童の健全な育成が図られ、子どもたちが元気に生き生きと健やかに成長することを願う。

#### ○遠野物語研究事業等振興補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野物語ゼミナール(H6～延べ 2,868 人)、遠野物語教室(H7～延べ 2,036 人)、昔話教室(H8～延べ 4,482 人)、遠野学会(H8～延べ 1,021 人)等、「遠野物語」を中心とした当市の民俗文化等の調査や研究に関する事業の振興を図るため、特定非営利活動法人遠野物語研究所が実施する事業に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

遠野の民俗文化や歴史調査等、遠野の歴史を長期的に研究されており、ふるさとの文化の継承、文化の全国発信を含め価値ある施策として評価できる。

今後も、遠野文化研究センターなどを活用して、市民にとってさらに親しみの増す企画提案を望む。

#### ○遠野市森林のくに振興資金貸付金

特に問題点は見受けられなかった。

この貸付金は、健全な森林の育成及び地域山村の振興と活性化を図るため、遠野地方森林組合に貸付契約により支出し造成する資金で、森林環境保全整備事業(除間伐・枝打ち・再造林・下刈り等)に対し、必要な貸付金の支出であると認められる。

森林環境保全整備事業の補助率は 9 割事業であるが、年間の手入れは市有林を除き約 154 ヘクタールということであり、山の荒廃防止と森林の有する多面的機能が十分発揮されるよう、面積の拡大と適切な森林整備の推進を望む。

また、自然豊かな森林も遠野の貴重な文化であり、それを継承するための将来構想について、林家のみならず一般市民に対してもっとアピールする機会があっても良いと思われる。

#### ○遠野市農業経営基盤強化資金利子補給補助金(岩手県信用農業協同組合連合会)

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、岩手県信用農業協同組合連合会が農業者の効率的かつ安定的な農業経営を支援するため、農業経営基盤強化資金を借り入れた農業者の債務保証する利子に対し、必要な利子補給補助金の支出であると認められる。

岩手県信用農業協同組合連合会を通して、北日本 J A 畜産(株)の経営状況や雇用人

数の把握等、市に対しての貢献度の確認を望む。

### ○遠野市中山間地域等直接支払交付金（土淵山口集落・塚沢1集落）

特に問題点は見受けられなかった。

この交付金は、集落協定を締結している集落が活動する、耕作放棄地の発生防止や農家の育成、農村景観を含めた多面的機能の確保、水路・農道等の管理活動等に対し、必要な交付金の支出であると認められる。

市内の58集落に113,508,778円の交付金が交付されており、日本のふるさとを目指している遠野盆地の景観づくりに、大きな役割を果たしていると認められる。

地域の協力を得ながら耕作放棄地を少なくし、自然豊かな田園風景の維持と更に景観を守り創造する仕組み作りのため、リーダーや担い手、事務局体制の育成等を含めた事業展開を期待する。また、申請のない集落に対してのフォローを望む。

### ○遠野市農地・水保全管理支払交付金

特に問題点は見受けられなかった。

この交付金は、地域の農地・農業用水等の資源と環境の良好な保全と質的向上を図るため、岩手県水・環境保全向上対策地域協議会が実施する事業に対する活動支援で、事業費のうち国1/2、県1/4、市1/4を負担しており、必要な交付金の支出であると認められる。

市内の中山間を除く平坦地の24組織に20,212,200円の交付金が交付されており、地域ぐるみで実施している農村環境保全活動に、役立っている交付金であると認められ評価できる。

### ○遠野市有害鳥獣被害対策事業費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野地方有害鳥獣駆除協議会が事業実施する、有害鳥獣(シカ)による農作物等の被害防止を図るため、電気牧柵購入事業、シカ捕獲事業、ワナ管理・修繕事業に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

平成23年度のシカによる農作物等の被害額は約1億2千万円で、60人の駆除協議会会員が10班編成で173頭のシカを駆除したということであるが、それ以上にシカが増え続けており、対策に苦慮しているのが実情であると認められる。

この問題は、当市だけではなく県全体の問題であり、広域での取り組みを含め、農作物の安定した収量確保を図るため、様々な被害防止対策を講じながら効果が上がることを望む。

### ○ホップ環境支援対策事業補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野ホップ農業協同組合が実施する、従来使用されているホップ生産で使用されるツルの成長を支えるトワインを、微生物の働きにより分解されるトワイン(生分解性トワイン)に換える導入事業に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

農家の作業の改善と環境保全型ホップ生産の振興に取り組まれた、生分解性トワインの採用は評価できる。

現在、48戸の農家がホップ生産に取り組んでいるということであり、環境保全型

ホップ生産は、遠野ブランドのイメージ向上にもつながる施策であり、早期に全面切り替えが実現する計画の検討を望む。

### ○「地方の魅力発信プロジェクト」事業費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、海外において日本の食文化及び地方文化の紹介を通じて、震災で傷ついた日本のイメージを回復し、それによる被災地を含む日本の復旧・復興に資するため、細越獅子踊り保存会(16人)がマルセイユ(フランス)、ローマ・サレルノ(イタリア)でしし踊り公演に要する経費に対し、必要な補助金の支出であると認められる。なお、この補助金は全額が国からの謝金ということで、震災後行政と市民が一体となって後方支援活動を実施したごほうびであると思われる。

マルセイユでは、ジャパン・エキスポで公演し、約1,500人の観客があり、ローマでは、イタリア大統領が出席した日本国大使館主催の東日本大震災復興祈念行事での公演、サレルノでは、平成26年に姉妹都市締結30周年を迎えることから、今回は、イベントと位置付けての交流の絆を深める公演で、市役所での歓迎行事や夜はメインストリートで多くの観衆の中で公演、また、公演と併せてサレルノでは、英語版観光パンフレットやマルセイユでは遠野市の観光DVD(フランス語版)200枚の配布を行うなど、海外で遠野の観光PRと文化発信をして、海外からの観光客の誘客を図ったということで、嬉しい事業内容で評価できる。

### ○遠野市観光事業振興補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市観光協会が観光事業の振興を図るため、広告宣伝・広域宣伝等の実施、教育旅行誘致説明会事業、観光客誘致説明会事業、市内関係機関との共同営業活動等の誘致宣伝事業等に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

震災で落ち込んでいる観光事業を立て直した職員の頑張りは評価できる。

広告宣伝については、目的に合わせた訴求対象の絞り込みと、媒体特性の見直し及び媒体選択で限られた予算内でさらに効果的な広告宣伝の検討を望む。

遠野市観光協会の拠点施設である観光交流センター「旅の蔵遠野」も整備され、とおの昔話村のリニューアル工事も実施されており、各観光施設等の接客マナーの充実を図り、遠野の魅力と観光資源の発掘に力を入れ、観光客等が震災前の状態に戻ることを期待する。

### ○日本のふるさと遠野まつり実行委員会負担金

特に問題点は見受けられなかった。

この負担金は、日本のふるさと遠野まつり実行委員会が実施する「日本のふるさと遠野まつり」事業推進に対し、必要な負担金の支出であると認められる。

遠野まつりは、中心市街地の活性化や伝統芸能の保存と伝承、地域一体感の気運の醸成や遠野の祭りを代表する最大のイベント・秋の風物詩として定着している。昨年の遠野まつりは、「神々への祈り、復興への願い」をテーマに、市内の郷土芸能57団体、沿岸被災地の郷土芸能5団体や被災者を招待しての開催であり、まつりの運営等には、県外のボランティア団体等もスタッフや市内の郷土芸能団体に参加したということで、後方支援活動の拠点として、友好・交流の絆を深め

た見応えのあったまつりであると認められる。

「遠野流おもてなしの心」について、市民全員の意思統一が図られるよう、遠野市版クレドカード(サービスの理念・考え方・使命等)の作成について、商工観光課、文化課をはじめとする各部署及び遠野市観光協会と連携し検討を望む。このことにより、他の観光地との大きな差別化につながるのではないかとと思われる。

### ○遠野型観光PR推進委員会負担金

特に問題点は見受けられなかった。

この負担金は、遠野型観光PR推進委員会が実施する里まち連携交流事業等を通して首都圏での観光PR、ロケ地マップや観光PRうちわの作成、スタンプラリーによる市内回遊スタイルの構築、いわてデスティネーションキャンペーンに向けて遠野四季観光ポスター作製、観光客無償貸与傘作製、JR遠野駅舎環境整備に対し、必要な負担金の支出であると認められる。

特に、中野ブロードウェイ商店街が取り組んでいる「里まち連携交流事業」に岩手県東京事務所の仲介により、「遠野探訪 in 中野ブロードウェイ」と題して、「中野ブロードウェイ」及び「中野サンプラザ」で当市の観光PR、物販、昔話や郷土芸能を披露したことは評価できる。

今後は、観光客等の誘客拡大に向けて、遠野型観光PR推進委員会負担金、遠野市観光事業振興補助金及び遠野まつり実行委員会負担金の有効活用策を図るための検討と併せて、市民参加による訪れた方の満足度を高める企画等、新たな事業展開を望む。

### ○遠野市雇用奨励助成金(ミツワ化工株)

特に問題点は見受けられなかった。

この助成金は、リーマンショック以降経済情勢の悪化に伴い、国の補助金(8割)に市単独加算1割、事業主負担1割の補助制度で、市内企業経営の安定化と雇用維持継続に一定の成果があり、必要な補助金の支出であると認められる。

平成23年度は5件と申請件数が減少してきているということである。また、市内誘致企業等の雇用状況は、リーマンショック前の平成20年3月の1,940人に戻ったけれども、以前に比べ正社員数が少なく派遣や臨時、パート従業員が多いということである。

### ○遠野市事業所設置奨励金(株十辰製作所)

特に問題点は見受けられなかった。

この奨励金は、市外企業の誘致を推進するため、遠野市事業所設置奨励条例で定める奨励措置適用事業所の指定を受けた(株)十辰製作所に対し、奨励措置の一環として交付するもので企業の立地及び育成に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

雇用の場確保に職員の努力が認められる。雇用の安定確保と雇用拡大に、より一層の頑張りを期待する。

### ○社団法人遠野市シルバー人材センター事業補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、社団法人遠野市シルバー人材センターが高齢者の社会参加を図る



ため、臨時的及び短期的な就労の機会を確保し、社会的経済的地位の向上を目指すための事業に要する経費に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

当市にとって「人口減少と少子高齢社会」は避けて通れない課題であり、高齢者の知恵と技の人材活用は必要で、シルバー人材センターへの登録者(H23年度会員314人)や受注(H23年度1,700件)を増やすため、宣伝の方法に工夫を望む。

また、シルバー人材センターについては、運営費補助にとどまらず担当部署としてもっと積極的に関わって、高齢者が力量を発揮し、地域社会に貢献できる新たな方向性を見出して欲しい。

#### ○一日人間ドック負担金（一般会計分）（岩手県厚生農業協同組合連合会）

支払事務に遅延が見受けられるので、原因を確認し適正な事務処理をされたい。

この負担金は、岩手県厚生農業協同組合連合会が実施している一日人間ドックを市民が受診した際に、要する経費の一部を負担するもので、疾病の早期発見と早期治療により市民の健康増進を図るために、必要な負担金の支出であると認められる。

市民の健康を管理する上で、特定検診や人間ドックの実施は評価できる。

#### ○社会福祉法人事業費補助金（社会福祉法人ともり会・高館の園）

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、社会福祉法人ともり会が運営している障がい者支援施設「高館の園」施設整備の建設資金借入金償還に対し、条例及び規則に基づき交付している、必要な補助金の支出であると認められる。

社会福祉医療事業団資金借入償還計画に基づき、補助金を交付することで施設の運営の安定を図り、重度身体障がい者の福祉サービスが確保されていると認められる。

#### ○遠野市障害者等日中一時支援事業費補助金（社会福祉法人睦会・遠野コロニー）

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、社会福祉法人睦会が運営する障害者支援施設遠野コロニーが実施している、就学している障害児が放課後等に活動できる場の確保及び介護者の疾病等の理由により施設での介護が必要な障害者につき、施設において介護等の便宜を提供する事業に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

現在、就学している障害児8人が放課後等に施設利用しているということである。

民生費が増加している現状にあり、障害者等日中一時支援補助基準額が妥当であるか検討を望む。

#### ○遠野市障害者地域活動センター事業費補助金（社会福祉法人千晶会・太田の園地域活動支援センター）

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、社会福祉法人千晶会太田の園地域活動支援センターが実施している、雇用及び就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスをしている事業に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

現在、1人が施設利用しているということである。

事業所との連携を密にし、補助金交付要綱に基づいた適正なサービスが利用者に実施されているのか内容の把握を望む。

### ○遠野市通所サービス利用促進事業補助金（社会福祉法人睦会・遠野コロニー・わさびっと）

軽微な書類の添付漏れが見受けられたが、特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、県の「障害者自立支援対策臨時特例事業費補助金交付要綱」に基づき、社会福祉法人睦会が運営している障がい者支援施設「遠野コロニー及びわさびっと」に通所している施設利用者の利便を図るため、事業者が送迎を行なった場合、車両の賃借料や送迎の委託料等の負担軽減を図ることにより、利用者がサービスを利用しやすくするために、必要な補助金の支出であると認められる。

一日平均約8人が利用しているということである。

### ○遠野市環境整備協力会補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市環境整備協力会が実施している道路沿線の草刈り、ゴミ拾い、除雪等や河川敷内の草刈り等に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

市内を流れる河川は遠野の魅力の一つであり、道路清掃も含めた環境整備活動は、市民協働の先駆けとして市民に定着し、遠野イメージの維持・向上につながっており、良好な景観保全と水害防止が図られていると認められる。

さらに、積極的な参加を促す仕掛けをして、「遠野流おもてなし」の一つとして、市民総参加の自然環境の整備を望む。

### ○遠野市地方バス路線対策事業費負担金（廃止路線代替バス運行費負担金）

特に問題点は見受けられなかった。

この負担金は、市内の高齢者や運転免許を有しない交通弱者の足確保のために、公共交通機関として住田町が住田町コミュニティバス「八日町遠野駅線」（日曜日・祝日・年末年始を除いて運行）を廃止路線代替バスとして運行しており、それに対し必要な負担金の支出であると認められる。

この路線は、平成16年4月からJRバス東北(株)の路線廃止に伴い、合資会社住田交運が引継ぎ運行し、平成22年度から住田町が住田町コミュニティバスとして運行しており、運行経費の1/2と遠野市が実施している定額料金バス運行分(毎週火・水・金曜日)を負担しているということである。

負担金から見て事業の効率性は大きく、今後、さらに利用目的に沿った効率的な運行計画を検討していきたいとする担当課の姿勢は評価できる。色々な対策で市民の足確保を望む。

### ○遠野市立学校体育・文化事業補助金（遠野市中学校体育連盟）

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市中学校体育連盟が開催する市内中学校スポーツ大会や県大会、東北大会、全国大会へのチーム及び選手の派遣に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

県大会等の各種大会での好成績を期待する。

### ○管内保留対策緊急支援事業費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、当市の畜産振興を図り、効率的で生産性の高い畜産経営体を育成するため遠野地方和牛改良組合に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

平成22年4月発生した宮崎県での牛の口蹄疫による子牛価格の低迷対策として、畜産農家を救済するために取り組んだ事業であるが、畜産農家の支援策として評価できる。今後、関係機関団体が一丸となって、優良な黒毛和牛繁殖雌子牛を育てて欲しい。

#### ○遠野牛地域一貫体制整備事業費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野地方和牛改良組合の事業に対する補助金で、市内で生産された黒毛和牛子牛を肉用牛肥育素牛として保留又は導入した場合に対し、対象牛1頭当たり5万円を遠野地方和牛改良組合が農家に対し補助する仕組みで、必要な補助金の支出であると認められる。

肥育農家を意欲的にする事業で、今後の畜産振興に期待と展望が開ける事業として評価できる。

放射能汚染により草地の除染が最重要課題であるが、何とか困難を克服し畜産振興の立て直しを図り、和牛の繁殖から肥育まで一貫した生産体制を確立され、関係者一丸となって、「遠野生まれ遠野育ち」の「いわて遠野牛」ブランド確立に向け、努力することを期待する。また、今後、途中で事業をあきらめないで、計画が着実に進行していることをもっと市民にアピールすることと、市民が「いわて遠野牛」を気軽に購入できる地元ならではの環境づくりを期待する。

#### ○遠野馬の里運営費事業費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、市内における馬事振興と馬を活用した馬事文化の継承と地域活性化を図るために、遠野市畜産振興公社が実施するホースパーク事業、育成調教事業及び乗用馬育成事業に対し、必要な補助金の支出であると認められる。

特に平成23年度は、東日本大震災により馬の里の施設も被災したため、その施設の復旧費44,000千円も含め、補助金は101,087千円となったということであるが、施設も復旧し競走馬部門は平成23年10月1日から完全民営化されており、数年後には馬を活用した各種事業が展開されることを期待する。